

ブレマーハーフェン 志賀トニオ



ミュージカル「ヘアスプレー」の舞台

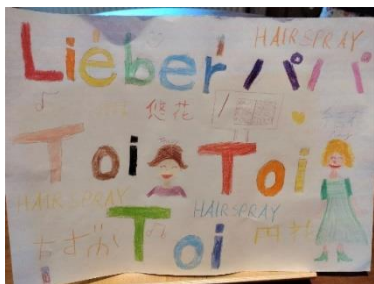
今回の劇場便りは、今回正指揮者を任されたミュージカル「ヘアスプレー」の続編*です。シーズン開始と共に最初の演目、ヴェルディ作曲「マクベス」の立ち稽古でピアノを弾く傍ら、ヘアスプレーの歌手との音楽稽古が本格的に始まりました。具体的には私がピアノを弾き、歌手と一対一で音楽的な方向性を摺り合わせていく時間です。業界ではSoloProbe と呼ばれ、プロダクションの最終的な出来上がりに直結する大切な稽古です。指揮者によってはSoloProbeを自分でやらずにコレペティオーアに任せる事もありますが、歌手としては、最初から指揮者と出来る方が方向性に一貫性を保てる事から好まれます。劇場の専属歌手との稽古が順調に進む傍らで、ゲストの歌手達と電話で詳細の確認をしていきます。ゲストの歌手は基本的に自分で音取りから音楽的な仕上げまで準備してから、立ち稽古に参加する事になっており、多くの歌手達はプライベートで専属のコレペティオーアを雇って稽古しています。オペラ等の通常の作品ではゲストの歌手と事前に電話で話す等の打ち合わせはないのですが、今回の作品は誰が何処を歌うのか明確な指示が無い所が多く、事前に演出家と演出のコンセプトを摺り合わせた後に、歌手達に歌う個所を伝達する必要があったのです。全体の稽古開始は9月26日(月)で、皆その日に向けて集中的に稽古していきます。その日は立ち稽古開始の日でもあるので、歌手たちは暗譜した状態で参加しなければなりません。9月17日にマクベスのプレミアが無事終了し、1週間集中的に音楽稽古を行い準備万端。その稽古場にいた私の所に劇場の事務方トップの方が神妙な面持ちで現れました。なんと演出家が身体的な理由によりキャンセルしたとの事！前代未聞の事態で、急遽

代わりの演出家を探すことになり、仕事内容を分担する為に振付師も採用する事に。その後運よく、代わりの演出家が27日午後から、振付師が10月4日から参加できる事に。そして最初の2日間は参加者全員で音楽稽古をする事になり、指揮者の私としては余裕をもって時間を使える事になり怪我の功名となりました。立ち稽古開始直前に行われるこの音楽稽古は指揮者にとって一番大切な時間の一つです。出演者に音楽の方向性を示すと共に、彼等の習熟度を測り、今後の稽古のプランを立てる必要があります。特に今回はゲストの歌手が8人います。作品の性質上若い歌手が多数参加するので、プロとしての経験が少ないかもしれません。2人は昨シーズンからニュルンベルクの劇場で同演目で出演しており、今シーズンもブレマーハーフェンと並行して、そちらで出演する為、テンポ等の音楽作りをニュルンベルクと同じにするように要求してくるかもしれません。* (前回の劇場便り 30の続き)

9月26日、いよいよ全員が集合して稽古が始まりました。演出家の変更になった事を知り、皆面喰らっていましたが、音楽稽古は順調に進みました。ゲストの歌手の中には案の定やや準備不足の若者達がいいましたが、それも私の計算の範囲内に留まり、上記のニュルンベルクの歌手達とはテンポのせめぎ合いはありましたが、こちらも比較的上手く方向性の一致を見ました。2日目午後の音楽稽古には代役の演出家も見学を訪れ、28日によりやく立ち稽古を開始しました。3日前に楽譜を手にしたばかりでどのように稽古を進められるのか一抹の不安はありましたが、代役の演出家は大変経験豊富なプロフェッショナルな方で比較的順調に稽古は進んでいきました。しかし、今回のプロダクションの一番の問題の一つはバレエ団との稽古時間が足りない事でした。この作品ではバレエ団に重要な役割があり、彼等の参加するナンバーが10曲程ありました。しかし、そのバレエ団はヘアスプレーと並行して10月中旬に眠りの森の美女のプレミアがあり、ヘアスプレーの為の稽古時間が大変限られていたのです。一週間後に来た振付師さんにとっての難題でしたが、運よくその方も同じく経験豊富なプロフェッ

ョナルで、ものすごいスピードで振り付けの稽古をしていきました。その振付師に私は振り付けの稽古は必ず最初は私が自らピアノを弾くとお願いしました。彼女は当初、CDの録音を使って稽古をするつもりでいたので、それはやめて欲しいと訴えました。そうしたがる振付師は多いし、指揮者としても、仕事量が減って楽になる面はありますが、そうしてしまうと、私がやりたいテンポと違うテンポで振り付けられてしまう事になってしまいます。振り付けというのは一度テンポを決めて振り付けられると、常にほぼ同じテンポで指揮をしないと踊れなくなってしまうのです。ですから、この最初の作業を指揮者がさぼって、振り付けが終わった段階で登場すると、もはや指揮者は振り付けにテンポを合わせざるを得なくなってしまうのです。

こうして毎日時間ぎりぎりの中なんとか最後のゲネプロを良い稽古で終える事ができ、いよいよ11月5日にプレミアを迎えました。当日はなんと満員御礼の売り切れ。一曲目が終わった時点で万雷の拍手でびっくりしましたが、曲の終わりと共にスタンディングオベーションとアンコールが連呼され、大成功のプロダクションとなりました。



パパ（トニオさん）の指揮者としての活躍を励まし成功を祈る、4人の娘さんのの応援プラカード。Toi Toi Toi はドイツ人の「ガンバッテ！」です。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

編集後記

2022年が終わろうとしています。皆さんにとってはどのような1年でしたでしょうか？

コロナ禍で世の中、閉塞感に覆われましたが

湘南日独協会は感染防止に努めながら、対面での各種催し物を展開することが出来ました。これは、会員の皆様のご協力とご理解があればこそと感謝しております。ドイツ語講座は講師の先生方、受講生のご希望によりオンラインで実施いたしました。2003年は1998年創立の湘南日独協会の25周年記念の年になります。記念事業は1年後の2024年を目標に計画を進めています。来年もよろしく願いいたします。（大久保）

BDF - Fonds für bedürftige Deutsche BDF – German Charity Fund ドイツ人支援基金

会員のダウシュ三浦ハンナさんより、協力依頼のお話がありました。詳しくは「ドイツ人支援基金」で検索してください。



BDF - ミッションとタスク

BDFは困窮状態にある在日ドイツ人とその家族を支援します。BDFのイニシアチブの例：

- ・ドイツとのコンタクトがなく、また日本でいかなる支援も受けていない高齢者の支援。
- ・経済的困窮者のための老人ホーム、医療及び子供の教育のための費用助成。
- ・最小限の寡婦年金しか受給していない遺族のための助成金。
- ・日本に残るという選択肢がなくなった場合のドイツへの帰国支援。
- ・日本の刑務所に居るドイツ人受刑者の支援。（例えば防寒具、読み物やメガネなどの差し入れ等

☆

支援基金の口座

BDF（ローマ字で記載して下さい）

普通預金 2819709

みずほ銀行：丸之内支店(005)

来春よりドイツ語講座が変わります

2003年4月からの、ドイツ語講座には、既存の「初級」「中級」の他「入門」「上級会話」が開設されます。

「入門」は、ドイツ語を初めて学ぶクラスです。日本人講師は主に文法、ドイツ人講師はドイツ語の簡単な挨拶など、2人の講師が隔週で担当します。

「上級会話」は様々な話題をドイツ語で話す講座です。2人のドイツ人講師が担当します。

ドイツ語を学んで素晴らしいドイツ文化の世界へ！詳しくは湘南日独協会ホームページをご覧ください。